

平成 29 年 10 月 1 日

## 学校関係者評価 報告

九州美容専門学校  
校長 加藤 稔子

九州美容専門学校では、平成 26 年度からすべての教育内容や通常の業務について、現状を点検して、さらなる改善・向上を図っていくために、自己点検及びその評価作業に取り組みを行っています。

本年度も、平成 29 年度自己点検・自己評価結果を踏まえた学校活動の状況を説明し、それに対し、各評価委員からのご意見を頂きました。

平成 29 年 10 月（第 4 回）「自己点検・評価報告書」を取りまとめ、本校ホームページ上において公表いたしました。

各委員からの意見は、真摯に受け止め、よりよい教育と学校運営をめざし、教職員一同努力してまいります。今後とも、一層のご支援、ご協力をお願いいたします。

1. 開催日時 平成 29 年 8 月 28 日（月） 13:00 ～ 14:00
2. 開催場所 九州美容専門学校 会議室
3. 出席者

委員氏名	所属名	役職名
梶田 攝也	碩台校区	自治会長
竹内 亜沙子	国際美容協会	皆伝
西浦 榮一	有限会社 NIFTY	代表
西岡 樹志	株式会社 ダリア	熊本営業所 所長
加藤 稔子	九州美容専門学校	校長
長谷 美佳	九州美容専門学校	教頭

#### 4. 委員会次第

- ① 開会あいさつ
- ② 平成 29 年度自己点検状況及び結果の説明について
- ③ 昨年との比較について
- ④ 自己点検に関する応答・意見交換
- ⑤ 閉会挨拶

## 5. 討議・意見交換について

学校運営や教育活動に関する成果報告や課題を本校と関係の深い外部評価委員と共有し、それらについての評価や助言をいただいた。

(梶田委員)

- ・核家族世帯が増え、家庭教育がなおざりになり、躰等が出来ていない子供が増えているので、学校という教育現場が親の出来ないことをしなければならない。学校では技術と共に人間教育にしっかり力を注いでいただきたい。
- ・教員も技術ばかりではなく、人間性を磨く研修を行って頂きたい。

(竹内委員)

- ・様々な行事から学ぶことが多く、良い雰囲気にもまれた学校なので評判が良い。このような、委員会を開催し、色々な意見を取り込むことで学校の質の向上が期待できる。
- ・最近では、大卒者でも「大人しい」「何を考えているのか」「人に聞くことが苦手」などの学生が増えていると聞く。人とのコミュニケーションを大切にできる人材育成を学校サイドが率先する必要があると思う。リーダー養成を含めた人材育成も必要ではないか。

(西浦委員)

- ・現場（美容室）とのギャップを埋めるため、離職率の減少を図るために、学校では、様々な行事やセミナーを行っていただいているが、この部分はとても大切な部分なので、より力を入れて、産学一体の授業・講義の構築に努力頂きたい。
- ・現役美容師と接する機会を拡大することが、業界のレベルアップにもつながるので、その環境づくりを増やして頂きたい。
- ・「出口＝就職」が非常に重要であり、我々の使命でもある。今後ともしっかりと連携協力してゆきたい。

(西岡委員)

- ・美容師養成に対応する知識吸収のため、教員研修の充実も必要であると思う。本社には、様々な教育カリキュラムがあるので、積極的にご参加頂きたい。
- ・今は、技術革新の速度が速く、企業が求めている学校、学生がはっきりとしている。学校の発展のためにも、新しい意見を取り入れて、時代にあった学校であってほしい。

委員からの意見は、どれも前向きな意見であり、学校としても真摯に受け止めたい。

学校関係者評価を踏まえて次のように実施する。

- ① 自己評価結果についての自次年度事業計画への反映と具体化
- ② 自己評価結果の WEB 公開
- ③ 学校関係者評価を学校運営に反映させる工夫
- ④ 企業等との連携カリキュラムの明文化
- ⑤ 平成 29 年度自己点検自己評価結果をうけて、総合判断 5 に向けてより一層の努力をする。